

平成 22 年 9 月 30 日
メディアスエフエム番組審議会事務局

メディアスエフエム第 19 回番組審議会 議事録

1. 開催日時

平成 22 年 9 月 29 日（水）16 時 00 分から 17 時 15 分

2. 開催場所

知多メディアスネットワーク(株)3 階すいせん西会議室

3. 出席者 ※敬称略

委員) 紀藤 輝明、加藤 龍子、小島 幹子、寺島 賀子、林 繁八

以上 5 名

※ 近藤委員は欠席

事務局) 河井 貞一 (代表取締役常務)、山本 隆明 (コンテンツ部副部長)、

松山 崇臣 (コンテンツ部編成企画G)

4. 議事内容

(1) 報告事項・・・事務局

① 8 月、9 月の活動報告

② 今後の予定

③ アンテナ移設について

(2) 活動報告、番組について審議・・・委員

5. 審議内容

○第 41 回東海まつり花火大会生中継についてのご意見

加藤委員/昨年最も問題だと感じた音も改善され、全体的に昨年の生中継より格段に良くなった。出演者に華があり、構成も良く練られていた。企画の中でも、浴衣看板娘出演は今後も地域との関係が築けるとい点からも良い、また多くの来場者を出演させたことも好感が持てた。出演者のトークも、昨年は間があり過ぎたが今年は違和感が無かった。

寺島委員/駐車場混雑情報はリスナーの方にとっても大変参考になったのではないかと。

紀藤委員/今年は昨年に比べ、入念に準備されていると感じた。

事務局／スタッフには昨年よりも内容を盛り込み過ぎた感があったが、評価をしていただき考え方が正しかったと実感できた。聴きやすさと好感に関しては出演者の力に因るところが大きい。特にラジオのキャリアが長いタックインについては、その実力を再認識し大切にしていきたい。

○パーソナリティーについてのご意見

紀藤委員／固有名詞の言い間違いが気になる。難しいことは理解できるが改善した方が良い。また、良く「お耳にかかります」という表現をしているが、「お目にかかります」とは違い日本語として正しくないのではないか。

林委員／難しいがマスコミは正しい言葉を使うことも使命だと感じる。

事務局／「お耳にかかります」はラジオ界の慣用句になっている。

加藤委員／言葉の使い方は、地方文化の定着ということにも繋がる。使ったり使わなかったりといった中途半端が良くなく、局が方向性を決めれば良いと思う。

○その他のご意見

小島委員／メディアスタジオに出演されるゲストの方々は大変良い話をされている。既に再放送はされているが、さらなる再放送を検討してはどうか。

事務局／確かにゲストの方には毎回、深く良いお話をさせていただいている。再放送枠を増やすことを検討したい。

加藤委員／以前自身が行う地域での活動中にラジオの中継が入った。その場に居合わせた子供たちをはじめ保護者の方々にもラジオに対する興味を持っていただけだ。この様に地域に飛び込んで行けば、もっと身近な存在になれるのではないか。

事務局／中継は継続して実施し、機会を増やすことも検討していきたい。

次回開催は平成 22 年 11 月 24 日（水）を予定。

以上

文責：コンテンツ部 松山 崇臣